

■ 第39号コンテンツ（目次）

1. 古くなった下水道管を直しています！—東部下水道事務所—・・・1、2頁
2. 令和6年度 第6回麓山塾「水道技術研修」を実施しました！—大崎広域水道事務所—・・・3頁
3. 他国のデザインマンホールはどんなもの？—東部下水道事務所—・・・4頁

■古くなった下水道管を直しています！

設置から約25年が経過している石巻市渡波地区^{わたのば}の下水道管は、生活雑排水や様々な生産活動に伴う排水によって内部の腐食が進んだことで、コンクリートが劣化し、内部の鉄筋まで露出している状況でした（図1）。この下水道管は、幹線道路である国道398号に埋設されているので、道路陥没などの重大な事故を防止するため、令和6年5月から、古くなった下水道管の更新工事を行っています。工事箇所は市街地である上、国道と県道の交差点付近に位置し大型車の交通量が多いため、交通の妨げにならないことや安全に配慮し夜間工事としています（図2）。なお、工事は古い管の中に新しい管をコイル状に巻いていく工法である管更生工事（図3）を採用しています。

この工事は令和7年1月末まで行う予定です。付近を通行される方や住民の皆さまには、片側交互通行による交通規制や工事に伴う騒音などで大変ご迷惑おかけいたしますが、安全に注意して施工してまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【位置図】



国土地理院：電子国土基本図を加工



図1 既設下水道管内の腐食劣化状況
・内部が腐食劣化により鉄筋の露出も確認できる



図2 市街地内の夜間施工状況
・国道は市街地を通り、交通量も多い

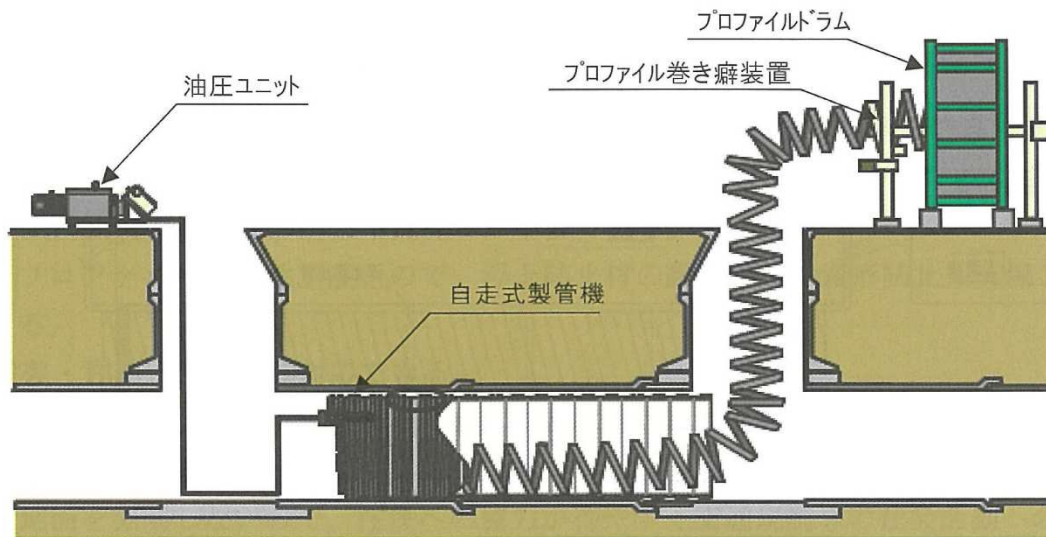


図3 管更生工事概要図

・既設管の中に新しい管をコイル状に巻いていく

出典：SPR-SE工法技術資料（日本SPR工法協会）



最後はこんなに綺麗になるよ!!!



■令和6年度第6回麓山塾「水道技術研修」を開催しました。

令和6年7月19日（金）、中峰浄水場で第6回麓山塾「水道技術研修」を開催しました。

大崎広域水道事務所が主催する研修事業「麓山塾」は、事務所職員のみならず、浄水場などを管理する運営権者（※）、大崎管内の受水市町村職員も対象に実施しています。

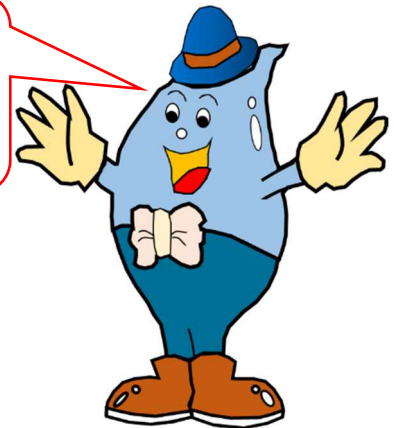
今回は、県土木部都市環境課の協力のもと、広域連携の一環として受講対象を県内の全水道事業者へ拡大して呼びかけたところ、塩竈市・登米市・利府町・色麻町の職員にも参加いただき、県職員や運営権者の職員と合わせて76名が受講しました。

研修では、外部専門講師による移動展示車を用いた「配管によるキャビテーション現象の実演」と、大崎広域水道事務所職員による「空気弁の分解組立てと応援給水装置設置の実演」を行いました。

暑い中、参加者は実演を熱心に見学したほか質問等も行い、関心度の高い研修となりました。

今後も知識習得や技術力向上の機会として、県や市町村及び運営権者と連携を図りながら麓山塾を開催する予定です。

空気弁の構造や給水装置の設置方法等を知る貴重な機会になりました！

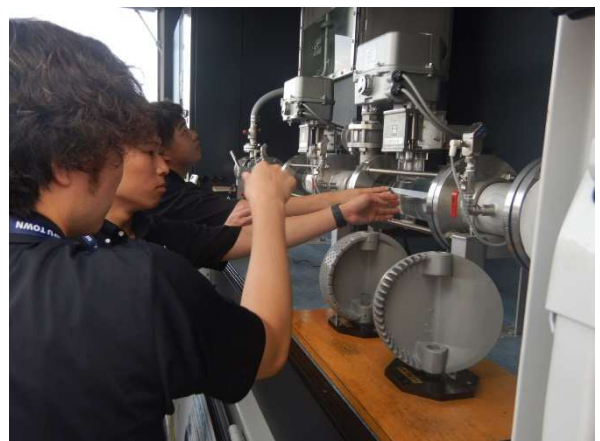


大崎広域水道事務所
オリジナルキャラクター
「しずく」

※宮城県は、浄水場等の施設について、所有権を保有したまま運営権を民間事業者に設定するPFI事業を採用しています。



研修の様子（配管によるキャビテーション現象の実演）



研修の様子（空気弁の分解組立てと応援給水装置設置の実演）



■他国のデザインマンホールはどんなもの？

日本全国、下水道が普及する地区では必ずと言って良いほど目にするマンホール蓋（人孔蓋）。最近では各地趣向を凝らしたデザインマンホール（図1）や、それを名刺大のカードにしたマンホールカード（図2）が人気となっていますが、他国においてもデザインマンホールが使用されているのはご存知でしたか？今回は日本のお隣、台湾で見つけたマンホール蓋をご紹介します！（ちなみに台湾でも「人孔蓋」と言うそうです。）



図1 宮城県流域下水道のデザインマンホール



図2 マンホールカード



図3 台中市のデザインマンホール（2023.4撮影）



図4 台北市のデザインマンホール（2024.5撮影）

図3は台中市内で見つけたデザインマンホールです。枠周りには波打つ水面がデザインされ、中心には台中公園の湖心亭が浮かんでいます。図4は台北市内で見つけたカラーのデザインマンホールです。台北101や承恩門など台北を象徴するランドマークに、雨粒が降り河川へ流れ下る様子を映しています。どちらも地元のシンボルに合わせ「水」を表現することで、下水に対するイメージ向上の思いが感じられますね。

このように他国においても日本と同様に円形の蓋が設置され、各地を象徴するデザインが描かれている共通点があるなんて面白いですね。

台北へは仙台空港からも毎日直行便が就航しています。気軽に行ける台湾へぜひお出掛けください。2024年12月には、仙台ー香港線も就航するのでワクワクが止まりませんね。

海外の路面は日本と異なり凸凹道もごさいますので、くれぐれも足下にはお気を付けて。

【第39号編集担当・お問い合わせ先】

公営事業課総務班（事務局）

電話：022-211-3413

E-mail：kigyo@pref.miyagi.lg.jp

【企業局の情報はこちら】

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/16.html>

【メビウスのバックナンバーはこちら】

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kigyo/mebiusu-alchive.html>

【企業局】



【メビウス】

